

議案第53号関連資料

明石駅周辺地区における取組について

明石公園内の旧市立図書館跡地については、市民の文化芸術活動の支援や地域交流の推進に加えて、明石公園利用者の活動支援に資するほか、災害時における防災対策の強化が図れるよう、国の補助金等を活用しつつ、財政負担を抑制しながら、旧施設の撤去と新施設の整備を行うべく検討しているところです。

また、市道明石中央63号線については、本市の玄関口である明石駅周辺における歩行者空間の快適性や回遊性の向上を図るため、山陽電鉄と協議を進めながら、歩道の拡幅や屋根の設置を検討しています。

つきましては、現在検討中の事業内容等について報告します。

1 旧市立図書館跡地における新施設の整備について

(1) 基本設計（素案）からの修正点

① 地下室の残置

- ・ボーリング調査の結果、地下水位が地下4mと高く、解体工事において止水性のある土留め工事が必要となったこと、また、地下部分が県立図書館と一部接続していることから、工期の長期化や工事費の増加が見込まれるため、旧施設の解体について再検討を行いました。
- ・検討結果として、地下室のうち書庫として利用した部分は、本市で不足している備蓄物資の保管庫（防災備蓄倉庫）として活用するため、地下室は残置することとし、耐震化とエレベーターを設置します。

② 交流棟における建築手法の変更（新築→減築）

- ・残置する地下室に接続する地上部は減築により交流棟（1階建て）として整備し、工期と工事費用の縮減を図ります。具体的には、既存建物の柱や梁などの基礎構造物を生かしつつ、不要となる部分を解体した上で、補強工事を行い、建物を再利用します。
- ・多目的ホールは、高さや広さの面で大きな空間を必要とし、広い範囲での柱などの撤去が困難であることから、旧施設の活用は構造上不可能と判断し、新築します。

③ 多目的ホールにおける利用形態の変更

- ・多目的ホールは、「音楽活動を行うことができる文化施設の充実を求める請願」（R6.12採択）等の内容を踏まえて、音楽の発表会や講演会等の文化活動や地域活動を主たる利用形態とし、体操やダンス等の軽運動も利用可とします。

④ バasketコート

- ・中高生からニーズが高いBasketコート（半面）を屋外空間に整備します。

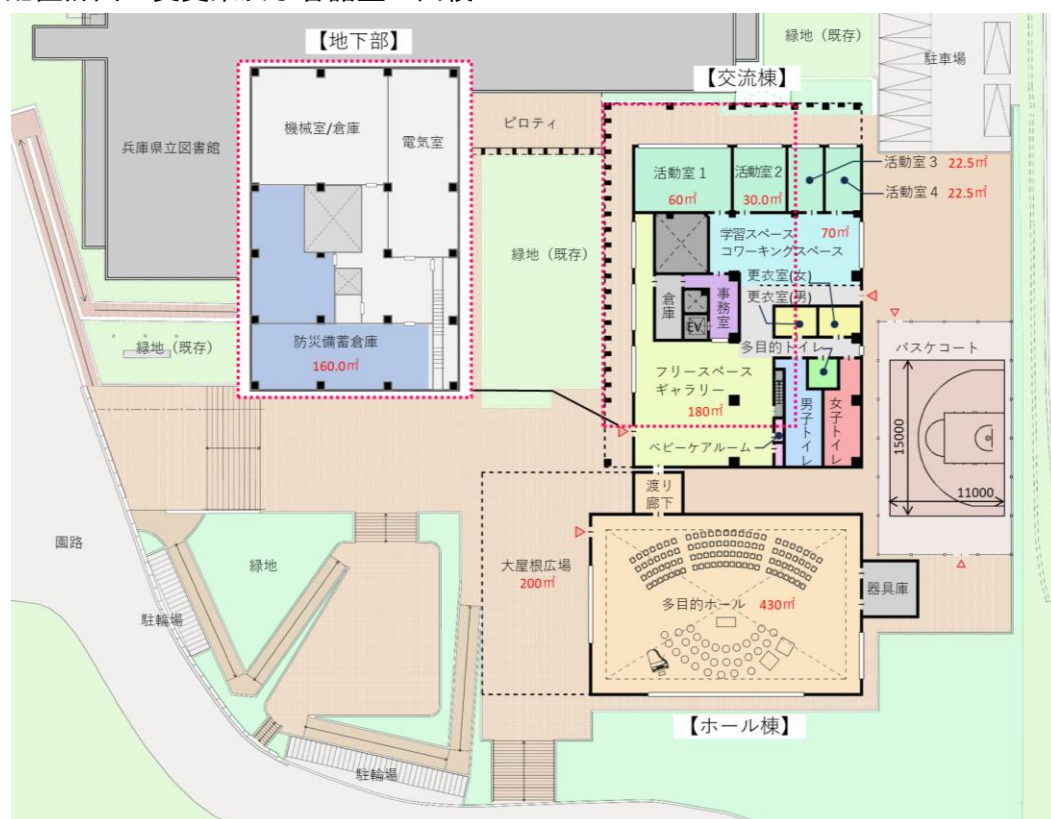
⑤ 市民利用を促進するための仕様の変更

- ・会議室は活動室として、防音機能やダンス利用に必要な鏡を壁面に設置するとともに、様々な利用形態を想定して、諸室の広さも大小違いを設けます（可動式の間仕切りにより一体利用も可）。
- ・ギャラリーの一部には、明石公園の自然を学ぶことができる空間を整備します。

⑥ 災害時における一時避難所等としての活用

- ・南海トラフ地震等による津波からの避難を行うため、標高3m以下の避難所（中崎小学校）は、津波による被害の恐れがないと判断するまでは、指定避難所として開設することができず、明石駅周辺の市民等が避難する場所の確保が不可欠となっていることから、当該施設を一時避難所として活用します。
- ・避難所の開設に必要な物資は、地下室の防災備蓄倉庫に保管するほか、停電時でも電力が供給できるよう非常用自家発電機を整備します。
- ・避難所閉鎖後は、県外から応援で派遣される他の自治体職員の活動拠点や福祉避難所として活用することも検討します。

(2) 配置計画の変更案及び各諸室の面積



【施設規模】

	【変更前】	【変更後】
ホール棟	514 ㎡	680 ㎡
交流棟（1F）	486 ㎡	680 ㎡
地下室	—	520 ㎡
合計	1000 ㎡	1880 ㎡

		【変更前】	【変更後】
多目的ホール		332.0 ㎡	430.0 ㎡
大屋根広場		182.0 ㎡	200.0 ㎡
活動室	各諸室	22.5 ㎡	①60.0 ㎡、②30.0 ㎡、 ③④22.5 ㎡
	一体利用	90.0 ㎡	135.0 ㎡
学習・コワーキングスペース		65.0 ㎡	70.0 ㎡
ギャラリー・フリースペース		122.0 ㎡	180.0 ㎡
トイレ・多目的トイレ・ 更衣室・ベビーケアルーム		91.0 ㎡	100.0 ㎡
防災備蓄倉庫		—	160.0 ㎡

(3) 工期及び概算事業費

	【変更前】				【変更後】			
工期	解体		整備		解体		整備	
	20.5 月		12.5 月		14.0 月 (▲6.5 か月)		12.0 月 (▲0.5 か月)	
概算 事業費	解体	整備	設計	合計	解体	整備	設計	合計
	8.0 億円	7.6 億円	1.0 億円	16.6 億円	5.2 億円 (▲2.8 億円)	10.4 億円 (+2.8 億円)	1.0 億円 (±0)	16.6 億円 (±0 円)
市実質負担	国補助金 8.3 億円 交付税措置 3.7 億円			4.6 億円	国補助金 8.3 億円 交付税措置 3.7 億円			4.6 億円 (±0 円)
維持管理費	約 3,000 万円/年				約 3,000 万円/年			

(4) 市民意見聴取

① まちづくり協議会（4 校区：明石、人丸、中崎、大観）

【事業全体への意見】

- ・生涯学習センター分室と市民ホールで活動されていた多くの団体が行き場を失っており、同施設の廃止に伴い、明石市の文化行政は後退したと感じている。本事業が前に進むことを切に願っている。
- ・明石校区では、地震による津波や明石川の氾濫を意識して防災に対する関心が高く、明石公園内に防災拠点が設けられることは地域にとって、非常に心強く、一刻も早く事業を推進してもらいたい。
- ・中崎校区としては、事業に対して好意的に捉えており、災害は待ってもらえないので、早く進めてもらいたい。
- ・周りの人に意見を聞いたが、学習やダンスに利用できる場所が欲しいという声を多数聞いた。様々な年代の方が利用できる施設にしてほしい。

【新施設の機能面】

- ・市内の音楽活動のサポートや高校生のビッグバンドを教えていたが、市民ホールが使えなくなったので、現在はバラバラに活動していて、活動の中心は市外となっている。市内にこうした施設ができることを非常に楽しみにしている。
- ・こどもがダンスをしているが、明石駅前の施設では音が出るため、練習に利用できる施設が少なく、ユーススペースも取り合いと聞いている。こどもや学生にとっても、非常にありがたい。
- ・生涯学習センター分室や市民ホールが無くなり、そこで活動されていた方々が地域のコミセンを利用されていることで、地域を主体とした活動や団体がコミセンを利用したいときに利用できない状況にある。
- ・学習スペースについて、明石駅前は非常に人気で、抽選に外れた場合、行き場がなく、困っている。明石公園内にも学習スペースができると親としては非常にありがたい。
- ・バスケットコートを整備することで、中高生による賑わいが期待できる。
- ・市民により多く利用していただけるよう、市民と市民以外で利用料金に差を設けてもらいたい。

- ・女性トイレが不足するという課題があるので、男女の面積割合を変更してもらいたい。

【災害防災機能】

- ・災害が発生すると人丸小学校は避難所としてすぐに満杯になるので、こうした施設が整備されることは大変ありがたく、ぜひ利用したい。
- ・防災拠点として、高台にあり、また、駐車場もあるので、物資の搬入、搬出において、非常に適した場所であると思う。
- ・備蓄物資も十分に備えていただけると思うが、体調が悪い方などを板間に寝かすわけにはいかないので、畳や簡易ベッドなども用意してもらいたい。

【その他】

- ・明石公園は夜道が暗く、足元も舗装されていない園路もあるので、兵庫県に街灯の整備などをお願いしていただきたい。
- ・隣接する県立図書館との連携も進め、賑わいの創出や災害時の対応をお願いしたい。

② 公園利用者（第8回明石公園みんなの未来ミーティング：R8.5.23）

- ・公園利用者として、これまで継続的に意見交換を進めてきており、その内容も踏まえた計画となっている。ぜひ、この事業を進めてもらいたい。
- ・意匠について、隣接する県立図書館や周りの森林と調和するよう配慮してほしい。

③ NPO法人明石シニアカレッジからの嘆願書の提出（R8.4.6）

- ・生涯学習センター分室があった時は、明石シニアカレッジやボランティア団体の活動拠点となっており、廃止後は、拠点を失い、居場所づくりにも大きな負担となっている。
- ・市民の憩いの場、居場所づくりに加えて、明石シニアカレッジ等の拠点となるよう、新施設整備の早期着工と供用を切に要望する。

④ 明石美術協会からの要望書（R8.5.25）

- ・旧市立図書館跡地の利活用に当たり、単なる空間整備に留まることなく、市民の文化芸術活動を支える拠点となるよう強く願っている。
- ・旧市立図書館の整備に当たっては、市民が文化芸術を行える共用スペースを整備すること。展示会、作品発表、ワークショップ等が実施できる多目的空間を確保すること。文化活動団体や市民活動団体が利用しやすい運営形態を確保すること。整備の検討に当たって、文化活動団体や市民の意見を丁寧に反映すること。

⑤ 明石洋舞協会からの要望書（R8.5.27）

- ・旧市立図書館跡地の整備に当たり、ダンス、舞踊を含む文化芸術活動が行える公共スペースを確保すること。発表や練習、ワークショップ等に活用可能な多目的空間を確保すること。こどもから高齢者まで幅広い世代が利用しやすい施設とすること。市民文化の交流、発信拠点として活用すること。施設整備及び運営に当たり、文化団体等の意見を丁寧に反映すること。

⑥ 明石音楽協会からの要望書（R8.6.3）

- ・生涯学習センター分室や市民ホールが無くなり、活動拠点を市外に移したり、活動場所を転々としている状況で、音楽の練習や発表の場所が明らかに不足している。
- ・地域交流センターが市民に慣れ親しんだ明石公園内に整備され、利用する市民がその運営にも参画することは、文化活動を通じた市民同士の連携を強め、住みよいまちづくり

に貢献し、極めて高い行政効果が得られるとともに、市民が自由に参加し発言できるワークショップの開催などによって、市民意見を十分に反映していると考える。

- ・地域交流センターの整備計画を推進し、旧市立図書館跡地に音楽活動にも使用できる文化施設を速やかに整備していただくことを求める。

⑦ 旧市立図書館の活用を目指す会からの要望書の提出 (R8. 5. 11)

- ・県立図書館と一体で設計された建築景観は、明石公園のシンボル施設として貴重な文化資産といえる。旧施設を解体せず、耐震補強を含めた全面改修によって再利用を望む。
- ・ふるさと図書館に収蔵していた郷土資料を、閲覧、公開する機能に合わせて、城下町資料館を併設する。

(5) 今後のスケジュール (予定)

		2026 (R8) 年度				2027 (R9) 年度				2028 (R10) 年度				2029 (R11) 年度			
旧施設	解体設計				◎契約議案(12月)												
	解体工事							14.0月									
新施設	基本設計				●基本設計修正案パブコメ(7月) ○基本設計最終案(9月)												
	実施設計									◎契約議案(3月)							
	建設工事									◎設置管理条例(6月)							
											12.0月					○供用 R11. 6	

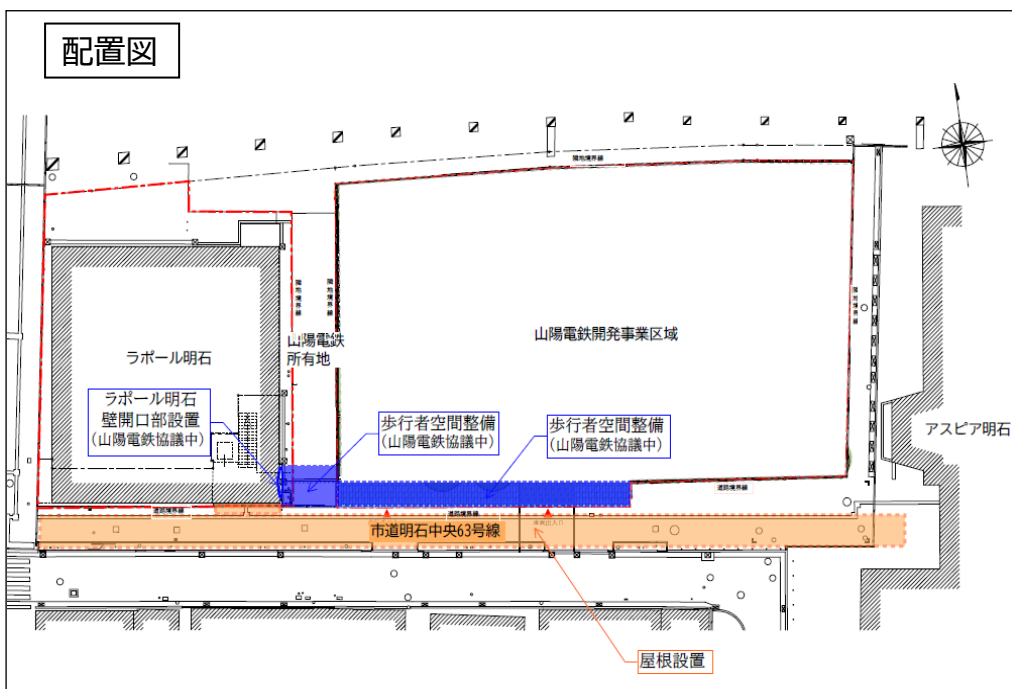
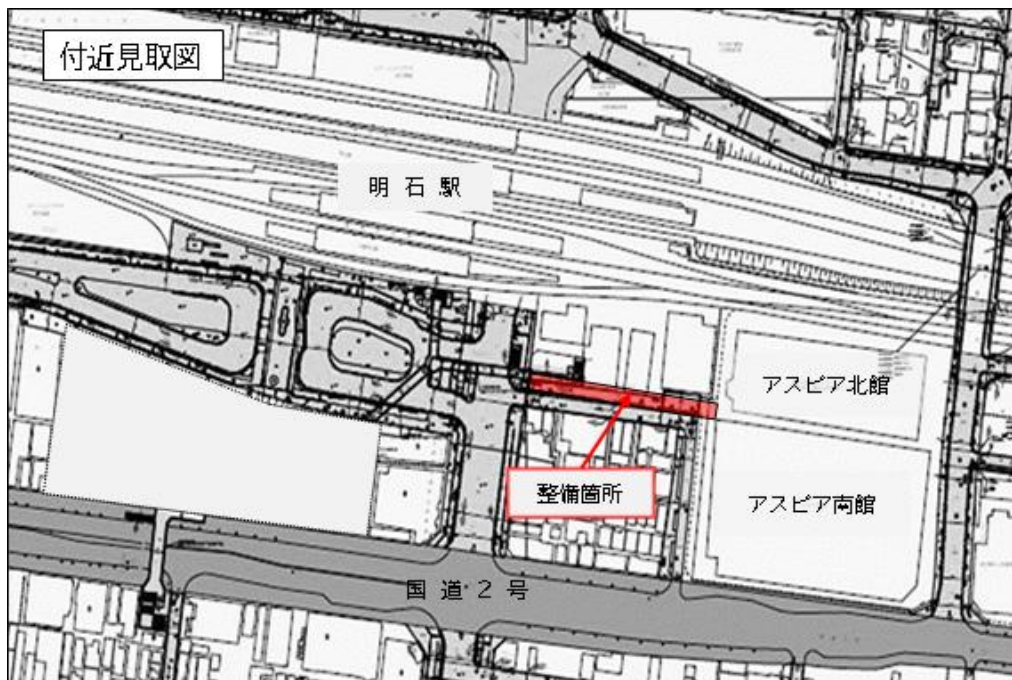
◎議案提出 ○委員会報告

2 市道明石中央63号線における歩行者空間の整備について

(1) 計画内容

明石駅前からアスパia明石を結ぶ市道明石中央63号線（以下「63号線という。」）については、現状として歩行者等の通行量が多い（休日：約18,000人/日）ことから、歩行者の安全性や快適性を向上させるため、歩道を拡幅し、日よけ雨よけの屋根（「配置図」橙色部分）を設置します。

歩道の拡幅については、山陽電鉄が所有する63号線北側の土地を無償で借り受け、市が歩行者空間として整備します（「配置図」青色部分）。合わせて、ラポール明石1階部分に繋げるため、東壁面に開口部を設置することを計画しており、現在、山陽電鉄と協議を行っています。



(2) 概算事業費

事業費については、概算額で約3億5,000万円と想定し、国の補助金等(都市構造再編集集中支援事業、地方債：公共事業等債)を活用し、市の財政負担の軽減を図ります。

なお、当該事業にかかる設計費については、このたび、補正予算として1,500万円を計上しています。

項 目	内 容	概算金額
委託費	詳細設計、埋蔵文化財試掘調査、工事監理	3,000 万円
補償費	地下埋設物移設補償（ガス・NTT・電気）	5,000 万円
工事費	歩道拡幅、屋根設置(舗装等改修)、ラポール明石改修等	2 億 7,000 万円
合 計		3 億 5,000 万円 ※市実質負担額 約1 億 4,000 万円

(3) 今後のスケジュール（予定）

	2026 (R8) 年度	2027 (R9) 年度	2028 (R10) 年度
歩行者空間整備	←→ 実施設計	←→ 埋蔵文化財試掘調査 地下埋設物移設 (ガス・NTT・電気)	←→ 工 事